

全国税

発行所 東京都千代田区霞ヶ関 財務ビル内(〒100-0013)
全国税労働組合
発行人 岡田 俊明
電話(03)3581-3678
FAX(03)3507-0886
振替口座 00140-2-68514

「税務の職場」
何でも110番
zenkokuzei@aol.com

全国税は、職場で起こった問題を解決するため「税務の職場、何でも110番」を常時設置しています(電話とFAXは上記の番号までどうぞ)。

全国税ホームページ
http://www.kokko-net.org/zenkokuzei

この回答の徹底と励行を

巡回指導
ハイカウンター
オフライン版

画一でなく弾力的に

昼休み対応「従来どおり」を再確認

去年の職員死亡に 長官「哀悼の意」表明

全国税本部は2月2日、3回目となる長官交渉を実施しました。

確認期に一人の死亡者、病人も出さなため、昼休み対応、巡回指導とハイカウンター、オフライン版P.C.、日曜開庁問題を中心

長官交渉

とした労働条件の改善、内部事務一元化試行の問題点とその改善、人事運用の改善、組合差別の根絶、非常勤職員の諸課題改善、勤務時間の短縮を福田長官に求めました。(1・2面特集)



全国税 確認期はすでに本番に入っている。昨年、東京局江戸川南署の個人課税部門長が死亡するという事態が起

き、また、私どもの組合員が収受事務の最中に脳梗塞で倒れるなど、危険な問題が起きたことは極めて残念であった。

振り返って、昨年のい

わば犠牲者とその家族(遺族)に対し、十分な対応、爾後措置がとられたい。また、15分まで相談が延びるのは職員にとつて耐えがたい。12時までに終了させるよう指示してもらいたい。

だが、具体化されていると考えていいか。長官 死者が出たことに哀悼の意を表したい。確認期は厳しい時期になるため、超勤を前提とせず、弾力的に実施し、過重な負担にならないように指示している。

1月から多数の来署者と対応している書では、職員のうち誰が一番先に倒れるかが話題になってきている。緊急時の対応を各局に指示徹底してもらいたい。また、15分まで相談が延びるのは職員にとつて耐えがたい。12時までに終了させるよう指示してもらいたい。

今年ハイカウンターが全国的に急配備され、今度は職員だけでなく納税者も立ちっ放しという奇怪なことになってしま

全国税 所得税の確定申告書の手引きが全面改訂されたが、長官の決裁があったものと思う。今回は誤字があり、毎年のように庁のミスが続いている。その訂正作業に、現場では大量の事務量を投下している。長官 最終的に私のところまで上ってきており、その責任は私にあり、私を追究してもらいたい。

庁の連続ミスで現場は大変 一言あって当然では



福田長官 職員に 申し訳ないと頭下げる

全国税 その際、一片の通知で事を済ませようとしており、申し訳なかったという一言があつてしかるべきと現場は思っている。

長官 単純なミスで迷惑をかけたことについては、最終責任者の私から、組合を通じて職員の皆様にお詫び申し上げます。(立ち上がって)大変申し訳ありませんでした。

事後的なことでは、どのくらいの影響があるのかを見ておく必要があるかもしれないと考えている。

えっハイカウンターは職員のため??

PC操作 不慣れな方 タッチパネル利用してもらおう 勤務時間の適正管理を指示

全国税 画一的手法を持ち込めば混乱させるだけだ。e-Tax対応でもオフライン版P.C.の大量配備とタッチパネル(T.P.)の大量撤去という画一的手法を押し付けている。大量に来署する納税者を物理的に捌くという点で効果があつたT.P.を撤去した場合、指導相談を時間内に終わらせることができるのか危惧する。

長官 T.P.は相談会場にしかなく来署者を減らせない。減少につながるオフライン版を勧めているが、P.C.の操作が不慣れな方は、T.P.を利用してもらおう。ただ、T.P.は増やしてないが、マクロ的にはそれほど減っていない。

全国税 長官が考えているより実際の配備数は激減している。長官 しかるべき配置をしていると認識しており、全体を見て対応してくれると認識している。

全国税 計画は超勤を前提にせず、局署の実情に応じ弾力的にと指示している。しかし、確認期は結果的に超勤をしなければならぬこともある。大し、そして深夜にも行うように指示している。予算は(18年度)対前年比99.6%だったが(19年度)は100.7%確保されている。全国税 この時期、すい

った。ハイカウンター導入の真意は何か。長官 職員が中腰にならないよう配慮したもので、それ以外の何ものでもない。「納税者を来させないため」と話す幹部「この誰か」といきり立つ一幕も。

長官 緊急時の対応は各署で考えていると思う。昼休みはこれまで通り弾力的な対応をというのは、新たに休憩時間に相談をやらせないということだ。ただ、12時15分まで勤務時間は事実だ。

全国税 昨年、健康問題を重視し、立ちっ放し・中腰指導を問題視してきた。それに対し交替制と休憩用イスの配備しか方策が示されなかった。

全国税 日曜開庁は4年目になる。今でも我々は休日開庁に反対である。危惧しているのは、3月も、確認期以外にも拡大し、そして深夜にも行う「二税務署」になつてしまわぬかという点にある。長官 試行の継続である。よろしく願ひたい。

長官 緊急時の対応は各署で考えていると思う。昼休みはこれまで通り弾力的な対応をというのは、新たに休憩時間に相談をやらせないということだ。ただ、12時15分まで勤務時間は事実だ。

長官 緊急時の対応は各署で考えていると思う。昼休みはこれまで通り弾力的な対応をというのは、新たに休憩時間に相談をやらせないということだ。ただ、12時15分まで勤務時間は事実だ。

長官 緊急時の対応は各署で考えていると思う。昼休みはこれまで通り弾力的な対応をというのは、新たに休憩時間に相談をやらせないということだ。ただ、12時15分まで勤務時間は事実だ。

長官 T.P.は相談会場にしかなく来署者を減らせない。減少につながるオフライン版を勧めているが、P.C.の操作が不慣れな方は、T.P.を利用してもらおう。ただ、T.P.は増やしてないが、マクロ的にはそれほど減っていない。

全国税 長官が考えているより実際の配備数は激減している。長官 しかるべき配置をしていると認識しており、全体を見て対応してくれると認識している。

全国税 計画は超勤を前提にせず、局署の実情に応じ弾力的にと指示している。しかし、確認期は結果的に超勤をしなければならぬこともある。大し、そして深夜にも行う「二税務署」になつてしまわぬかという点にある。長官 試行の継続である。よろしく願ひたい。

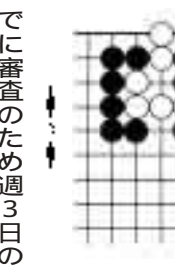


長官 緊急時の対応は各署で考えていると思う。昼休みはこれまで通り弾力的な対応をというのは、新たに休憩時間に相談をやらせないということだ。ただ、12時15分まで勤務時間は事実だ。

長官 T.P.は相談会場にしかなく来署者を減らせない。減少につながるオフライン版を勧めているが、P.C.の操作が不慣れな方は、T.P.を利用してもらおう。ただ、T.P.は増やしてないが、マクロ的にはそれほど減っていない。

全国税 長官が考えているより実際の配備数は激減している。長官 しかるべき配置をしていると認識しており、全体を見て対応してくれると認識している。

全国税 計画は超勤を前提にせず、局署の実情に応じ弾力的にと指示している。しかし、確認期は結果的に超勤をしなければならぬこともある。大し、そして深夜にも行う「二税務署」になつてしまわぬかという点にある。長官 試行の継続である。よろしく願ひたい。



詰 九段 石樽郁郎
黒先
ヒント 一手目の好手からナカデにします。(10分で、三段以上)

人減らしの限界探る「実験」では 一元化と賦課の振り分けで事務も複雑に 仕切り直しが必要と指摘



それはうがった見方
相談切り離しに依然後ろ向き
課税部門との連携は検討中

国税 内部事務一元化試行に関し、1月10日に要求書を提出したが、まだ回答はない(総務課長から、交渉議題にあるものは回答する、ないものは別途窓口で検討したいとの説明あり)。

一元化試行担当は、確申告は通常業務に従事する話だったが、総務課長 確定申告を切離すことはない。申告書の処理や審査等は一元化の担当であり、一元化部門で行う。ただ、量も多いので、他からの応援を考えている。

国税 前回、相談の切り離しを求めたところ、検討するということがあった。加えて一元化の人員がタイトになってお



不正・違法な全国税差別局長次長歴任し気づかない筈ない

全国税 組合差別は不正であり、違法な行為である。行政には透明性が求められ、説明責任が課せられており、内部行政においても同じだ。納得を得ることは人事行政においても極めて重要であり福田長官の決断を求める。

長官 私個人で申し上げる間組による加入人事をしない。全国税長官が信じていないが、局長、次長歴任してその間に組合差別について気づかないはずはない。実態も示してきたように差別が歴然とある。

長官 言い放つ 差別の臭いさえ嗅いだことはない

長官 先輩の話が聞かなくて、馬鹿で結構だ。これまでに差別の臭い嗅いだことはない。



長官 言い放つ 差別の臭いさえ嗅いだことはない



異動 一年で必ずとは言えないが努力する
身申・勤評の仕組みは変わらない

国税 給与制度の変更でも、4月に身上申告書、勤務評定があるとの仕組みは変わらないの

人事課長 変わらない。長官 中高齢職員の努力によって組織が成り立っていることを認識しており、

ただちに1日7時間45分に
非常勤職員の諸問題に英断を
長官 検討結果待つに尽きる

国税 別途、春闘期の要求を提出するが、今日は、常時5千人を超える非常勤職員の諸問題の改善で、英断を期待する。労働時間を35時間とする。

16年秋以降、ライブラリーに一元化に関する「企画情報」を掲載してきましたが、「順調に推移」「バラ色」紹介のオンパレードで、職員が本場に知りたいた情報が決定的に不足しているため、前記した受けとめ方になっていくことが想定できま

善要望」が強い項目は表のとおりです。「狭い書庫」「狭い事務室」「適切な室温管理」は局署・所属別ともトップ3を占めており、時間外実施のシバリで参加率3割台の人レクについて、その改善を求める声が強くなります。

電話相談も集中化を進めているところである。研修は、どの程度の相談をやってもらうかもあり、20年度までに一元化研修内容を定めたい。

国税 これまでの業務を賦課と一元化とに振り分ける作業をしている

総務課長 一般税務相談も含め、途中で担当が替わるのは難しいので、課税部門と一元化部門の連携も行うという無謀な

携について庁として検討しているところだ。国税 東京局で起きた還付金詐欺事件は、一元化試行担当セクションで起きた。チェックシステムが働かない、いわば一元化の弱点をさらけ出したと言える。

総務課長 不利益にならないよう考えている。管理部門と同じということになるのではないかと。国税 10年が15年になる、それは聞いていないということになる。

既報のとおり、8割が「21年夏の全署一斉実施計画」に否定的、反対です。「職場や業務環境の改善」が強い項目は表のとおりです。

「狭い書庫」「狭い事務室」「適切な室温管理」は局署・所属別ともトップ3を占めており、時間外実施のシバリで参加率3割台の人レクについて、その改善を求める声が強くなります。

アンケートを通じ、署・局・庁当局に多くの課題が突きつけられています。働きやすい職場づくりに早急に着手し、使用者責任を果たすよう追及していきます。



拘束時間延長・昼休み短縮について、「元に戻してほしい」が3分の2にのぼり、数多くの悲痛な訴えも記載されています。改善後、「官が民より15分長い」現状であることは明白で、「すぐに一日15分短縮」を行うと同時に、「週35時間(現行40時間)の時短」を切実に求めています。



「仕事と職場に関するアンケート」結果

解答 黒1のツケから3と打つのが好手段。白4に黒5で白死です。黒1で4は白3で、次に白と切つても白2で5なら黒2白1黒口で白死。黒3で4は白3でセキです。

詰碁

職場や業務環境の改善要望

1 狭い書庫の改善	502
2 適切な室温管理	498
3 狭い事務室の改善	363
4 専門書の充実	325
5 官用車の増車	315
6 時間外レクの改善	268
7 コピー機の更新・改善	245
8 空調設備の更新・改善	237
9 旅費の自己負担解消	235
10 通勤手当の自己負担解消	209
11 喫煙室の改善	201
12 事務用品の充実	201
13 食堂の開設・改善	191
14 休養室の改善	159
15 PC(KSK含む)の増設・改善	153
16 駐車料の自己負担解消	150
17 適切な照明管理	138
18 印刷機の更新・改善	119
19 パワハラ根絶	112
20 事務用品請求の簡素化	104
21 机付拭きなどの廃止	61
22 常備薬の改善	56
23 セクハラ根絶	49
24 イジメ根絶	33